

タグを使った

"ことろことろ"に挑戦!

準備物

- すずらんテープ
- 笛
- マーカーやカラーコーンなど(あれば)

3つのポイント『楽しさ』『コミュニケーション』『体力向上』

STEP 1 タグを使用する際のお約束&準備運動

10分

環境構成

- 活動前にタグを装着し準備をする
→すずらんテープを30cm程度に切って作っておく(人数分×2)
- 装着する際は屋内などで、落ち着いて行う

活動の進め方

- ①本物のタグを使用する場合、柔らかい部分や硬い部分があることを確認する
→振り回して硬い部分が当たると怪我をしてしまう可能性があることを伝える
- ②後ほどタグを取るあそびをするため、今はタグに触らないよう伝える
- ③準備運動は一般的な「膝の曲げ伸ばし」「アキレス腱伸ばし」など、慣れているものを実施する
→準備運動の際に「今日は楽しくたくさん動こうね!」などと、子ども達がワクワクするよう声かけを行う

STEP 2 導入(じゃんけん列車)(ことろ鬼)

10分

じゃんけん列車

環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る
- 事前に危ない箇所などにマーカーやカラーコーンなどを置き、子ども達に近づかせないようにする

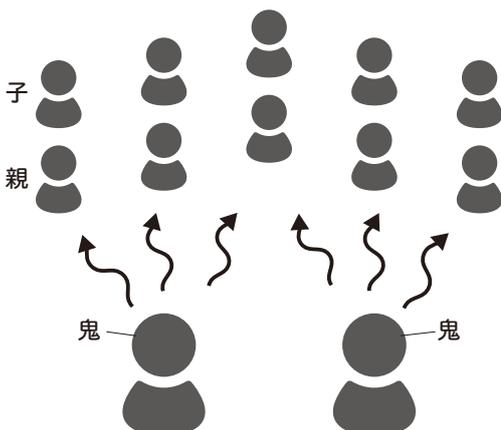
活動の進め方

- ①ゆっくり歩きながら(歩くコースは定めない)笛の合図に合わせて近くのお友達と2人でじゃんけんをする
→じゃんけんに負けてしまった子どもは勝ったお友達の後ろに回り、相手の肩に手を置きペアを作る
- ②次に、ペアでゆっくり歩きながら、再び笛の合図で近くのペアの先頭同士がじゃんけんをする
→じゃんけんに負けてしまったペアは勝ったペアの後ろにつく
- ③繰り返しおこない、最後の1列になったときに先頭の子どもを優勝とする

ことろ鬼

環境構成

- 2人組を作り前後に並んで座る



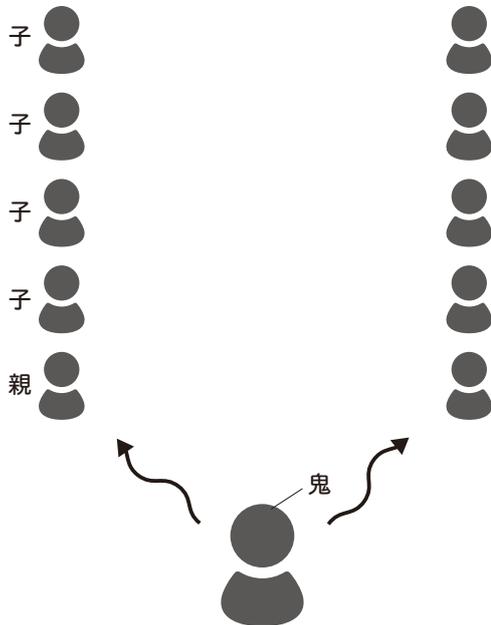
活動の進め方

- ①ことろ鬼のルールを説明する
 - 2人組で前後に並び、後ろの子どもは前の子どもの肩に手を置く
 - 前を「親」、後ろを「子」と呼ぶことを伝える
 - 鬼役を先生が行い、親は鬼から子のタグが取られないように守る(守り方は、両手を広げて通せんぼする)
 - 守るときに叩いたり、蹴るなどしないよう伝える
 - 親と子が離れないよう、鬼から逃げることを伝える(スピードがつきすぎると離れてしまう)
 - 鬼はタグを取ったら「タグ!」と大きな声で言い、子は返されたら「ありがとう!」ときちんと言い、お互いハイタッチをする
- ②実際にことろ鬼に挑戦する
 - 初めは、親と子が離れてしまわないように、歩くくらいのスピードで逃げるようにする
 - 1分程度おこなったら、親と子を交代して再びことろ鬼を楽しむ
- ③動きに慣れてきたら、タグを取れる程度までスピードを上げて、ことろ鬼を楽しむ
 - タグを取られてしまったら、親と子を交代するなどルールを変えてことろ鬼を楽しむ
 - 更に慣れてきたら、鬼役を子どもと交代するなどしてもよい
 - 鬼になった子どもには「追いかけることも楽しむ」ことを伝える

ことろことろ

環境構成

- 5~6人で1列になり並んで座る
(クラスの人数や活動場所の広さによって変えてもよい)



活動の進め方

- ①ことろことろのルールを説明する
 - ➡後ろの子は前の子の肩に手を置き5~6人で縦1列に並ぶ
 - ➡鬼役を先生が行い、親(列の先頭)は、鬼から子のタグが取られないように守る(守り方は、両手を広げて通せんぼする)
 - ➡守るときに叩いたり、蹴るなどしないように伝える
 - ➡鬼はタグを取ったら「タグ!」と大きな声で言い、子は返されたら「ありがとう!」ときちんと言い、お互いハイタッチをする
- ②実際にことろことろに挑戦する
 - ➡鬼がグルグルと同方向に追いかけていくと遠心力で列が乱れやすくなるので、初めはゆっくりとした動きでおこなう
- ③10秒程度行ったら、鬼役や列の順番を変えるなどして、繰り返し楽しむ
 - ➡安全面に留意しながら、徐々に列になる子の人数を増やしてもよい